

# 令和5年度 「市長と語る市政懇談会」記録



## 花ノ木小校区

令和5年11月14日（火） 午後6時30分から

西尾市役所〔51会議室〕

市政懇談会次第

- 1 開会
- 2 市政運営について（市長）
- 3 地区とりまとめ意見・質問等の回答
- 4 自由意見交換
- 5 閉会

## 出席者等

校区代表町内会長	花ノ木小校区：神谷重光代表町内会長
地区関係市議会議員	鈴木規子議員、牧野次郎議員、犬飼勝博議員、牧一心議員
市関係者	中村市長、近藤副市長、山口副市長、稲垣教育長、西尾総合政策部長、酒井健康福祉部長、榊原こども部長、小林市民部長、石川交流共創部長、山本産業部長、高須環境部長、杉山建設部長、吉田都市整備部長、黒柳上下水道部長、鈴木教育部次長 事務局：木下広報広聴課長ほか3名
出席者数	市民35人、地区関係市議会議員4人、報道関係者2人
事前意見・質問等	整理区分7件 内訳：質問5、要望2
自由意見等	整理区分13件 内訳：意見3、質問6、要望4

令和5年度「市長と語る市政懇談会」（花ノ木小校区）

○司会（広報広聴課）

皆様、こんばんは。

本日は、お忙しいところ「市長と語る市政懇談会」にご参加いただき、ありがとうございます。私は、本日の司会の進行を務めます広報広聴課の木下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お時間になりましたので、ただいまから「市長と語る市政懇談会」を開会いたします。

開会に先立ちまして、ご来場の皆様をお願いしたいことがございます。懇談会中は携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードへの切り替えをお願いいたします。

初めに、本日の出席者をご紹介します。

この懇談会の開催にあたり、多大なるご協力を賜りました花ノ木小校区代表町内会長の神谷重光様でございます。

また、市議会からは牧野次郎議員。

○牧野次郎議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○司会（広報広聴課）

犬飼勝博議員。

○犬飼勝博議員

こんばんは。

○司会（広報広聴課）

牧 一心議員。

○牧 一心議員

よろしくお願いいたします。

○司会（広報広聴課）

ご出席をいただいております。

そして、市からは、市長をはじめ、近藤副市長。

○近藤副市長

お願いします。

○司会（広報広聴課）

山口副市長。

○山口副市長

こんばんは。

## ○司会（広報広聴課）

稲垣教育長。

## ○稲垣教育長

よろしく申し上げます。

## ○司会（広報広聴課）

そして、関係部局の部長、部次長が出席をしております。

なお、本日の懇談会の開催にあたり、衆議院議員 青山周平様からお祝い状を頂戴しておりますので、ご報告を申し上げます。

続いて、本日の予定をご案内いたします。

この後20分程度の時間で、市長が市政運営について説明をいたします。

その後40分程度の時間で、地区の皆様から事前にお聞きしておりますご意見、ご質問等に対して、市から回答させていただきます。

また、地区の取りまとめのご意見等とは別に、参加者の皆様から広くご意見等をお聞きするため、自由意見の時間を40分程度設けております。こちらの自由意見は、まちづくりに対するご提案やご意見、地域の困りごとなどをお話していただければと思っております。

なお、本日は花ノ木小校区の懇談会でありますので、発言の際は該当地区の方を優先をさせていただきます。ご了承ください。

そして、事前に地区からいただいている意見と質問は8件ございます。8件を進めてまいりますが、一旦40分ぐらい経過したところでまだ終わっていない時は、自由意見に移りたいと思えます。そして、お時間があれば、また事前質問へ戻るといふ形をお願いいたします。

なお、時間の都合上、本日お答えできない質問等につきましては、後日文書にて代表町内会長様にお送りするということをご了承を事前にいただいておりますので、よろしく申し上げます。

懇談会の時間は午後8時15分までとさせていただきます。その後、事務連絡をお伝えして閉会となりますので、円滑な進行にどうぞご協力をお願いいたします。途中休憩時間は特に設けておりませんので、必要に応じて入退室をしていただければと思えます。

そして本日、記録用として懇談会の音声録音と写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。懇談会の記録は準備ができ次第、市ウェブサイト等で公開をさせていただきます。

それでは、市長からご挨拶を兼ねて、市政運営についてご説明申し上げます。

## ○市長

皆さん、こんばんは。西尾市長の中村 健でございます。

本日は花ノ木小校区の市政懇談会にご参加いただき、本当にありがとうございます。

この3年ほどコロナ禍ということもありまして、令和2年度及び3年度はこういった懇談会を開くことができませんでした。4年度から再開はしましたが、コロナ禍ということでも縮小開催でした。この5月にコロナも法的には5類に移行したということで、社会経済活動については平時の形でやっておりますので、この懇談会もやっと平時の形でできるかなというところでもあります。以前と少し形を変えておりまして、1つは僕の席が前にかなり出っ張っているんですけども、これはできるだけ皆様方と膝を突き合わせるような形で懇談がしたいということで、皆様方の席も以前だと学校みたいな形の配席だったんですけど、より放射線状というか円みたいな形になっています。

今日は事前の質問として8件いただいておりますけれども、花ノ木小校区の問題に限ったことではなくて、今の社会として大きな課題であったり、あるいは西尾市として抱える大きな課題に

ついてもご質問いただいております、非常に本質的な内容が多いので、また後ほど答えさせていただきます。それだけではなくてフリートークの時間も設けてありますので、皆様方との時間を有意義なものにできればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以後、着座にて失礼いたします。

お手元の資料の中でA3サイズのページを見ていただきたいと思います。このページは市政方針というものの内容になっていまして、1年間西尾市としてどういった取組みをしていくのかという主だったものが網羅されています。時間が20分ぐらいしかありませんので、この中から幾つかピックアップをして説明させていただきたいと思います。この内容については、フリートークの時間等でご質問いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

まず、一番大きな字で書いてあります「人が輝き、まちが躍動する、共生・共創のまちづくり」というところは、僕の2期目の4年間のスローガンになります。「人が輝き、まちが躍動する」というのはそのままでありますけれども、「共生・共創のまちづくり」という部分の前半の「共生」というのは、簡単に言うと、多様な生き方や多様な考え方を尊重したまちづくりをしていこうということになります。後半の「共創」というのは行政的な造語でもあるんですけども、まちづくりに当たって、行政だけがやっていくんじゃなくて市民の皆さんの力ですとか、あるいは企業の力を借りながら、官民が連携をしてまちづくりに取り組んでいきたいということを示したものになりますので、多様な在り方とか、多様な考え方を尊重しつつ、官と民が連携しながら、まちづくりをすることで、人が輝いてまちが躍動するような、そういう西尾市にしたいという思いを込めております。その中の下に見出しが6個あります。

まず、1個目の見出しになりますけれども「新たな魅力に挑戦するまち」というところの3番目をご覧ください。今の時間は西尾中学校区の話を中心として説明させていただきたいと思っております。

3つ目の、ビジネスの相談拠点と中心市街地活性化の交流拠点機能を併せ持つ（仮称）西尾未来共創拠点の設置準備とあります。これはどういう拠点かと言いますと、地域経済というのは中小企業ですとか、小規模事業者の皆様方に支えていただいております。ただ、外部的な競争環境が激しくなってきたり、あるいはカーボンニュートラルと言って環境的な規制も厳しくなっている中で、どう地元の企業の皆様がこれからのこの競争社会を生き抜いていくかということが結構大事なポイントになるんですけども、そういった中で融資の相談だけでなく、そういった企業の皆様方が持っている自分では気付かないけれども、第三者的に見ればすごい会社の強みですよというところのアドバイスをさせていただきながら、その企業の稼ぐ力を上げていただくような相談業務を中心として、アドバイザーと言いますか、そういった支援をしていく拠点を作っていきます。来年4月からスタートの予定で、場所は名鉄西尾駅構内の改札を降りたところのテナントを借りる予定ですので、そこでそういった中小企業の相談とか支援をやっていくということと、ここには中心市街地活性化の交流拠点も併せ持つと書いてありますけれども、その拠点で、例えば夜の時間帯に、中心市街地活性化に取り組む皆さんが場所を借りて色々議論をするとか、そういったことも含めてやっていきたいと思っております。

その関連で1個下に、西尾市中心市街地活性化ビジョンを策定するとともに、にぎわいあるまちなかを目指した社会実験を企画とあります。中心市街地の活性化にこの1、2年、市としても力を入れて取り組んできております。なぜやっているのかということをもっと申し上げると、西尾市を経済的な視点で見た時に1個大きな問題というものがありまして、それは何かと言うと、製造業も盛んなので製造業が生産する富というのは非常に多いわけですけども、その富が市外に流出してしまっているという、西尾市の構造上の大きな問題があります。それは端的に言うと、商業的な機能がどうしても弱い部分があって、西尾市内で働いていて富は生産するけど、買物は市外で済ませてしまうという方が結構多いというところがあって、そういう中で一番その社会的

な機能が整っているのが中心市街地と呼ばれる西尾駅周辺でありますので、その土地の資産価値を上げたり周辺の商業的な機能を充実させるということを、今力を入れてやっております。

この秋までミスタードーナツの前のところにBOX PARKという緑色のコンテナを設置していたんですけれども、あれも中心市街地活性化の取組みの一環です。主旨としては、商売をやりたいという方は結構いらっしゃるんですけれども、いきなりテナントや店舗を借りて店を出すというのは資金繰りの面も含めてリスクが大きいので、まずお試しで出店していただいて、その中で反省点を今後に生かすとか、本当に商売をやっていくだけの覚悟ができるかというための拠点だったんです。その中で一定の、ビジネスをやりたい方々の掘り起こしというのはできて、あとはそういった方々が実際に商売をやりたい時に、結構中心市街地でも空き店舗がありますので、そういったところをつなげながら、やりたい人と店が余っているところをつなげるような形で、にぎわいを取り戻していきたいと思っています。最近だと沖縄料理屋さんですとか、アパレルのお店が中心市街地の中でオープンできていて、今後もある程度目途が立っているのも、うまく商売をやりたい人と場所を貸すというところをつなげながら、中心市街地の活性化に取り組んでいきたいと思っていますので、ご承知いただければと思います。

同じ見出しの下から4番目を見てください。文化会館の空調設備及び大ホール、座席の更新、トイレの洋式化など長寿命化を実施とあります。今、文化会館が使用できない状況になっていて、非常に皆様方には御迷惑をおかけして申し訳ないんですけれども、建設から40年ぐらいたって、その間あまり手を入れてこなかったのも、例えば空調とか水回りのような見えないところもぼろぼろになっていたり、あるいは、当初は結婚式場としても使っていたと聞いていますので、機能的にも時代に合わなくなっているところもあるようですので、1年半ぐらい時間をいただく中で大規模改修をしております。そういう中で空調の設備や大ホールの座席の幅を少し広げたり、あるいは舞台機能の向上などに取り組んでいます。来年の年末が終わりますとリニューアルオープンできると思いますので、まだ1年ちょっと工事の期間をいただきますけれども、楽しみにしていただきたいと思います。

次、見出しが変わります。2番目の「誰もがほっとする持続可能なまち」というところの2番目を御覧ください。株式会社デンソーの工場進出に伴う名鉄上横須賀駅周辺の住宅地整備、名鉄の利用促進、渋滞緩和対策を目的とするまちづくりの推進とあります。吉良町の駸馬瀬戸地区という吉良の北部で、山を切り開いてデンソーさんの新工場を造っていただくための土地の造成工事をしております。本当に大規模な事業でありまして、敷地面積が52ヘクタールですので、大体東京ディズニーランドと同じぐらいの開発行為を今やっています。年度末にはデンソーさんに引き渡せると思うので、その後工場を建てるという形になるんですけれども、恐らく2,000人ぐらいは従業員の方が増えると思います。これを、ただ1企業の工場進出で終わらせるのではなくて、当然従業員の方からすると近くに住みたいというニーズもありますので宅地開発をやっていくとか、あるいはデンソーさんの関連企業さんも近くに立地したほうが移動コストなどで有利だということもありますので、そういった企業誘致をさらに推進するとか、あるいは今日の事前質問にもありましたけれども、名鉄の西尾・蒲郡線が存続の危機にありますので、従業員の方々に電車を利用していただいて通勤できるような名鉄利用促進をやっていくとかという形で、今回のデンソーの進出を西尾市としているいろんな意味でのまちづくりにつなげていきたいということで、都市計画の規制の緩和なども含めてやっています。今後の10年間を考えると西尾市としては一番大きなプロジェクトになりますので、ぜひ花ノ木地区の皆様方にも知っておいていただきたいと思います。

次に同じ見出しの下から4番目を見てください。西尾駅東駅前広場・八ツ面山公園の再整備を推進とあります。西尾市の1つ大きな課題として、近隣の市に比べて人口当たりの公園の面積が少ないという問題があります。そうした中で、新たな公園を造っていくということも1つあるん

ですが、既存の公園や広場のてこ入れをしていくということも重要だと考えております。西尾駅東駅前広場というのは、要はヴェルサウォークの向かいの公園みたいなところですが、あそこを再整備という形で、子供たちや親子連れを中心として楽しめる憩いの場となるような形で整備していきたいと思っています。具体的にどのような整備をしていくかということについては、今後ワークショップやアンケートなどを行う中で意見を集約して決めていくんですけども、既存の状況だとあまり場所が有効に活用できていないので、公園的な機能として広げていきたいとおもっています。後半の八ツ面山公園については、まだ具体的な事業計画までは行っていないんですが、以前男山にアスレチックがあったことを皆さんご存知かと思います。僕も子供の時よく利用させてもらったんですけど、そういったアスレチックの再整備も含めて、八ツ面山公園をもう少しいろいろ遊べるような形で整備をしていこうということで構想を練っていますので、西尾駅の駅前広場等の整備が終わった後に八ツ面山の再整備に向けて取組みを進めていきたいと思っています。

次は、見出しが変わりまして3番目になります。「ともに楽しみ ともに学び ともに夢みるまち」というところの最初を見てください。全世代の市民が集う多様な学び交流の場として、(仮称)生涯学習センターの基本設計に着手とあります。場所は中央ふれあいセンターの向かいと言いますか、昔の青年の家・婦人の家の向かいにテニスコートがあります。歴史公園の三角になっているところに(仮称)生涯学習センターという施設を建設します。令和9年度当初のオープンに向けてこれから設計等をやっていきます。(仮称)生涯学習センターが何かと言いますと、いろんな機能があります。

1つは子供たち、特に保育園児・幼稚園児ですとか、小学校低学年ぐらいの子供たちが雨の日でも遊べるような、室内の遊び場の機能を入れます。それに加えて最近外国籍の住民の方が増えてきておりまして、今、人口17万人の中で1万人ちょっと、6%ぐらいが外国人の方になります。その外国人の方々の子供たちの支援、言語的などところも含めてトレーニングをするための機能を入れます。あるいは、今、コンパスという名称でやっているんですけど、若者の不登校や、学校を卒業してからなかなか働くことができないといった悩みを抱えている子たちの相談や支援を行う機能があります。そのニーズも非常に増えていて利用者も多いので、中央ふれあいセンターにあるその機能を新たにそこに入れます。あとはあゆみ学級と言って、学校に通うのは難しいけれども、復帰に向けて自分なりに頑張っている子供たちがたくさんいて、そういった子があゆみ学級に自分のペースで好きな時間に行って、好きな分だけ勉強して好きな時に帰れるといった、ある程度自由度が高い学校に代わる場を用意しているんですけども、そういった子たちも増えてきているのでその機能も入れていきます。

センターの中心は子供たちになるんですけども、いろんな悩みを抱えていたりだとか、あるいはいろんな特性を持った子供たちが、その中でみんな分け隔てなく自分たちの問題を克服できたりだとか、あるいは楽しく過ごすことができるような場にしていくということを考えております。事業費としては20億円ぐらいかかりますので相当大きな事業なんですけれども、これは本当に他市に誇れるような施設にしていけると思いますので、今後設計等の協議を詰めていく中で皆様方のご意見も聞きながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

次に裏面を御覧ください。4つ目の見出しになります。「健康をつなげ 幸せがつながるまち」というところで、いろいろ書いてあるんですけども、4番目と5番目に市民病院の関係のことが書いてあります。

僕が最初に市長に就任させていただいたのが約6年前になりますけれども、就任早々、市民病院について碧南市民病院と統合した方がいいだろうということで、碧南市側に協議を持ちかけたことがありました。その件については碧南市側から正式にお断りがありましたので、今はその話はないんですけども、ただ、西尾市民病院としてそれだけ苦しい状況にある中で、経営の改善

に向けていろいろ取り組んでいかなければいけないという問題があるのは間違いないです。

経営が難しい、厳しいという一番根本的な理由は、ドクターが足りないということになります。診療科にもよりますが、大体ドクターが1人増えると1億円ぐらい稼ぐと言われてはいますし、今後高齢化が進んでいく中でいろんな疾患が高齢になると増えますので、地域住民の方々の医療ニーズに応えられるだけの体制を整えていきたいと思っておりますが、ドクターを病院が自前で採用していくというのは実はあまりメインの方法ではありません。多くのお医者さんが大学の医局という組織に所属していて、その医局という組織のトップである教授という方が人事権を握っていて「誰々先生はこの病院に行ってくださいね」というふうに采配をしていくことになります。そのため、西尾市としての状況だとか西尾市民病院としてドクターが必要だということを、しっかりと教授にお伝えをして「ああ、じゃあ、西尾市民病院の派遣を増やさないといけないね」というふうにやるのが一番現実的な方法なので、そこについては病院長、副院長だけではなくて僕もなるべく時間を取って、直接教授にお話をしています。

この6年で医師数自体は少し増加傾向にあります。なかなか派遣していただけない科もあって、根本的な経営改善にはつながっていないんですけども、ここは地道に継続してやっていくということに尽きますので、西尾市の皆さんの医療需要は何か西尾市民病院で応えられるようにしていきたいなと思っております。ですので、ご承知いただきたいだけではなくて、巷の噂で「西尾市民病院はあまりドクターの腕がよくない」と言う方もいらっしゃいますが、僕はそんなことはないと自信を持って言えます。西尾市民病院として対応できないような疾患については、例えば安城更生病院に行ってくださいということはありますが、診れる病気についてはしっかり責任を持って診ますので、もしお身体を悪くされた時などは本当に西尾市民病院を頼りにしてほしいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

次に見出しが変わります。「いのちを守る 暮らしを守る 環境を守るまち」というところで、下から4番目と3番目を見てください。ごみの問題について、いろいろ書いてあります。ごみの問題というのは実は非常に大きな問題でありまして、なぜかと言うと、今日の質問にも関係するんですが、まず、ごみの焼却施設を造るのに莫大な費用がかかります。令和12年度の稼働に向けて新しい施設を造っていくんですけども、建設費だけで350億円ぐらいかかるだろうと言われてはいます。ごみの処理費用を見ても、年間10億円、20億円とかかりますし、そうやって考えると皆様方に提供する行政サービスの中で、多分一番お金がかかるのがごみじゃないかと思えます。

そういう中で、実は西尾市というのは非常に不名誉な記録がありまして、人口1人当たりの家庭ごみ排出量が県内で一番多い、要はワーストだということです。ですので、ここは市民の皆様方にもご協力をいただかないといけないということで、今取り上げているんですけども、昨年夏場に雑がみ回収袋というものを全戸配付させていただきました。紙類のごみは普通に燃えるごみとして出されると、燃えるごみとして燃やしてしまうんですけども、分別回収すればリサイクルできますし、ごみ処理のコストも下がりますので、紙は紙として分別して出してくださいねということの意識付けをさせていただくために配りました。ご自宅にある紙袋とかに入れていただければいいんですけども、紙類の燃えるごみに占める割合も結構多いので分別していただきたいということです。

他にも例えば生ごみも燃えるごみの中で非常にウェイトが大きいんですけども、あれも水気をぎゅっと絞ってもらって、水気を切るかどうかによって大分炉の傷みが変わってくるので、小さいことかもしれませんが、そういったことをこつこつやっていくことによって処理費用も減りますし、環境にもいい生活ができるように思います。なるべくごみを出さないような生活をするとか、ごみのリサイクルを上げるための意識付けをさせていただくことが、なかなか180度今の生活を変えるのは難しいかもしれませんが、念頭に入れていただきながら生活をしていただくだけでも大分違うと思いますので、その辺りのご協力を改めてお願ひいたします。



最後の見出しの「誰もがキラキラと輝き、誇り・愛着の持てるまち」というところで、下から3番目を見てください。旧一色支所本庁舎跡地への温水プール整備に向け、整備内容や整備手法を検討とあります。学校のプールがありますけれども、多くの学校のプールが建設後かなり年数がたってきているので老朽化しております。その学校のプールを全部新しいものに更新していくと非常に多くの費用がかかるというのが1個あります。

また、最近の異常気象で夏場だと38度とか40度近くになる日が多いです。そうすると学校のプールの授業自体ができない日が増えています。他にも部活動が、学校でやっているものから地域に移行していこうというようなことを国が言っています。先生方の負担があまりにも大きすぎるので、先生方の働き方改革ということで、なるべく教員がやらなくてもいいことについては、教員の仕事から離していこうという動きもある中で、西尾市としてはプールの授業を民間の温水プール、スイミングスクールとかそういったところに委託をしていきたいと思っております。そうすると、学校のプールを全部更新していく必要がないのと、先生方の負担も減ると、あとは専門的な水泳の指導もできるので、そういった方向に舵を切ろうとして順次やっております。

ただ、市内の温水プール、スイミングスクールだけでは全部の小学校の授業を吸収しきれないので、もう1個新しい温水プールが必要だと市として考えていて、適地が旧一色支所跡地ということになります。旧西尾市内だと幾つか温水プールというかスイミングスクールがありますので、そういったところに委託をしていきます。しかし、市の南部地域にプールが足らないのと、B&G海洋センターを廃止してしまったので、そういったことも含めて、昔の一色支所の跡地にプールを造っていくという方向で検討を進めております。早ければ2029年度とか30年度ぐらいのオープンになりますが、午前中は学校の授業で使ってもらって、午後からは一般開放というか市民の方々に使っていただくような形で考えていますので、少し先の話になりますけれども、そういった動きがあるということをご承知いただきたいと思っております。

この時間帯の説明は以上とさせていただきます、何かご質問があれば、また後でいただいて、この後は事前にいただきました質問に対してお答えをさせていただきますので、よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

## ○司会（広報広聴課）

ただいま市長が説明をしました市政運営につきましては、後ほど設ける自由意見の時間でご発言をいただきたいと思っております。

ここからは、事前にご提出いただきましたご意見やご質問などについて、市から回答をさせていただきます。

校区代表町内会長の神谷様におかれましては、1件ずつ質問内容を読み上げていただいて、その後、市長から回答を申し上げます。市から回答をいたしましたら1件ずつ時間を区切って、皆様からご意見をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは1件目を神谷様、お願いいたします。

## ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

失礼します。花ノ木小校区代表町内会長をやっています神谷です。よろしくお願いいたします。

1件目は、大雨による冠水及び水路の改修についてです。

集中豪雨により道路の冠水が増加し、花ノ木小校区においても、かなりの道路が冠水しています。市役所へ問い合わせたところ、北浜川の改良が必要とのことでしたが、側溝及び水路の浚渫工事も併せて行う必要があるのではないですか。

市長は雨対策について、どのように考えていますか。お願いします。

## ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。ここで1件目の意見につきまして、6月2日の大雨の際に今川町の道路が冠水した様子を撮影した動画をご用意しておりますので、今準備をいたします。こちらは山崎様にご説明をいただきたいと思いますので、お願いいたします。

### 【広報広聴課職員が動画を流す】

## ○今川町山崎様

山崎といいます。住んでいる場所が今川交差点の南東になります。家の目の前が田んぼですが、道がいわゆる川の状態というのか、ものすごい勢いで交差点の方から家の方に流れてくると。それでその先に、今度は南の方へ川の勢いは流れています。深さは私の膝くらいまでありました。家が床下浸水しているんですが結構大変でした。

交差点に車が知らずにすごい勢いで入ってくるので、水が引いた後に何が残っているかというところ、車の下についているプラスチックのエンジンカバーがむしり取られて、それが散乱して流れてきたり交差点にもありました。止まる車も何台かありまして、みんなで押して人力で交差点から外へ出すというような状態です。深さもあります。

今、異常気象とか線状降水帯で、ちょっとした雨でも最近こうなるようになってきました。私は何十年と今川に住んでいますけど、3～4年ぐらい前からこんなような状態になっています。田んぼの保水力も無くなってきたとか、いろんなことは言われているんですけど、ここ最近ちょっとした雨でひどいなど。

これは雨の降り始めで、この交差点に排水処理もあるんですけど、そこがもういっぱい。いっぱいというのか、流れてないのかよく分かりませんが、どンドンどンドンたまる一方というようになります。

## ○司会（広報広聴課）

ありがとうございました。

それでは市長、回答をお願いいたします。

## ○市長

神谷さん、ありがとうございました。山崎さん、ありがとうございました。

先ほどおっしゃっていたように、この3～4年で増えたということなんですが、恐らく今までだったら数年に1回ぐらいの規模の豪雨とかが、今は年に複数回発生しているような状況にあります。市としてもこれは非常に大きな問題というのか、課題と受け止めておりまして、ほかの地区の懇談会をやっていても、一番多く声が出るのはこの豪雨対策ですし、議会の皆様から予算要望の面でも必ずこれについては要望として入っているくらいなので、非常に大きな課題であります。

まず、いただいたご質問の中で側溝及び水路の浚渫の話がありましたので、先にそれについてお答えさせていただくと、これ自体は非常に有効な対策だと思っております。市が管理する水路については町内等の要望を踏まえて現地確認をさせていただいて、排水に支障が生じるような水路ですとか、作業に危険が伴うような水路については、市の方で浚渫を行っているところであります。

ただ、側溝については地元の方々に泥上げ等もやっていただいておりますので、本当に感謝しておりますので、これからもそういった水路の対応と言いますか、処理については官民協力してやらせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

冠水のことについて申し上げますと、この花ノ木小校区で言うと、特に市役所の南側一帯です

とか、丁田町から今川町周辺で発生しております。いただいた質問の中にもありますが、これは突き詰めていくと全部最終的には北浜川へ流れるものとなります。県に北浜川の改修に向けて、ずっとやっていただいているんですけども、北浜川の水位が上昇してしまうことが冠水する一番の要因となっているところです。河川の改修は非常に費用もかかりますが、長い年月がかかることが予想されますので、市としても県に要望はしているんですがそれだけだとやはり不十分でありますので、市としてもできることはやっていきたいと思っています。

具体的なところといたしまして来年度、令和6年度は市内で浸水が常習化している地域を選定して、地域ごとの被害軽減対策の検討をしていきます。その後に効果が高い対策から優先順位を決めて、そういった地域の対策を集中的に整備していくということで、少しでも浸水被害の軽減を図っていきたいと思っています。

あとは近年、国政において国土強靱化ということで、道路とか河川関係の建設の予算が結構多めにつけていただいております。国の財政の健全化云々みたいな話がありますが、とりあえずちょっと置いておきます。さっき言いましたように河川の改修と言っても長い時間がかかりますし、今後、本当にそういった豪雨による被害が頻発化しているし、被害も非常にひどくなっているの、国もしっかりと地方の財政的な支援をお願いしますということは、僕のほうも毎年要望に行っていますので、何とか少しでも国から予算をいただきながら西尾市内でも対策が進むように全力は傾けてまいりますので、よろしく願いいたします。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの回答に対しましてご意見等がある場合は、挙手をお願いいたします。

よろしいですか。ありがとうございます。

ここで鈴木議員がおみえになられましたので、ご紹介させていただきます。鈴木規子議員でございます。

#### ○鈴木規子議員

遅くなりまして申し訳ありませんでした。よろしく願いいたします。

#### ○司会（広報広聴課）

それでは、2件目へ移りたいと思います。

神谷様、お願いいたします。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

2件目は、ごみの分別についてです。西尾市全体でごみ問題が深刻です。不法投棄や分別せずに出したため回収されないごみもありますが、特に多いのがプラスチックごみです。本来、プラマークの付いたものだけを袋に入れますが、分別が徹底されていないため、回収されないごみ袋も多くあります。今年の夏は、特に暑かったため、ペットボトルの混入が多数見られました。外国人も多く住んでおり、説明することは大変ですが、ごみの分別について、どのように周知すればいいでしょうか。例えば丁田町や今川町等は、地道に説明板を作成したり、分別方法を回覧板で回そうと考えています。また、防犯カメラを設置することで、不法投棄等の抑止にはなりますが、場所を変えて出されてしまいます。プラスチックごみ袋に「ペットボトルはダメ」のように、簡単な言葉とイラストを印刷してはどうでしょうか。

2件目は以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

#### ○市長

まず、ごみの分別について市としてやっている取組みについて、紹介させていただきますと、今年度はごみの分別とか減量についての出前講座を、ご依頼を受けて開催しました。また、書き言葉で全部書くのは伝わりにくく、SNSを使う方も多いので、1分程度で分かるごみの分別動画を作成しました。あとは外国人の方向けに、その外国語で作成した看板や動画も必要だと思っていますので、もし具体的にどの言語のものが必要かということをご相談いただければ、できる限りの協力はさせていただきたいと思っています。

一方で、インターネットや動画というのは、基本的には興味がある方が見に行くものですよね。そうすると、その分別の意識とかがない人には届かないんです。じゃあどうすれば良いかを考える時に、僕は分別袋に何か記載するのが一番良いんだろうと思っています。僕はこういった仕事をしているので、分別にはそれなりに意識は持っているつもりなんですけど、プラごみの緑の袋に何が書いてあるか知っているかと聞かれたら分からなかったんですよ。今回、分別のご質問をいただいたので事前に市の対応をいろいろ協議する中で、実際にごみ袋に何て書いてあるかを確認しました。そうしたら、ペットボトルはだめですよということが実は書いてあるんですが、僕も知らなかったし、多分同じように知らない方が多いのだろうと思いました。

今の段階で、どう啓発すると一番良いかという答えは出ていませんが、他市の先進事例なども参考にして、例えばプラスチックのごみ袋にどういう記載をすると一番良いかということを研究させていただこうと思っています。町内会で啓発されるということであれば、市で作った動画などを紹介していただければ分かりやすいと思いますので、ご活用いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの回答につきまして、ご意見等があれば挙手をお願いいたします。  
今マイクをお持ちいたします。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

あの緑色の袋が一番あやふやと言いましょか、プラスチックの入れるもので、よく置かれているのも緑色の袋です。ですからペットボトルの絵にバツテンを描いてもらった方が分かりやすいんじゃないですか。それが一番早いと思います。今、市長も言われたとおり、ペットボトルを入れるのが一番多いので、その辺どうでしょうか。

#### ○市長

具体的な記載の仕方は内部に持ち帰って検討させていただきますので、今いただいたご意見を参考にしながら決めていきたいと思っています。よろしくをお願いします。

#### ○司会（広報広聴課）

それでは、次に3件目に移りたいと思います。  
こちら2つご意見がありますので、神谷様、全て読み上げてください。よろしくをお願いします。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

3件目は、若い世代に魅力のあるまち「にしお」についてです。  
日本の出生率は過去最低を記録し、高齢化社会が進み、1.2億人の人口は8,000万人まで減少す

ると言われています。西尾市は、今後若い世代や子育て世代にスポットを当てた行政を展開していく必要があると思います。

そこで2点要望いたします。

1 市が募集するスポーツ教室や各種生涯学習講座参加したいと思っておりますが、土曜日・日曜日及び祝日開催の教室や講座が少ないため、働いている現役世代や学生は参加できないことが多いと思います。ぜひ、土曜日・日曜日及び祝日開催の教室や講座を増やしてください。

2 国は、子育て支援として、一律現金を給付しています。子育てしやすい市を目指して諸策を講じるのであれば、国のような現金給付ではなく、その財源を保育園、幼稚園及び学校へ充ててほしいと思います。

3件目は以上です。

### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

### ○市長

まず1点目ですが、スポーツ教室についても生涯学習講座についてもご意見はごもっともだと思いますので、土日の開催ですとか、そういったものについて前向きに検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

2点目については、僕も同じような考えです。経済的な負担を軽減するという国民の必要性は否定しないんですけれども、ある意味で現金のばらまきのようなものでもあります。余裕があればそういったことはしていいんですが、目先の人気取りみたいなことをすることによって、本来やるべきことが後回しになってしまう危惧があると思っております。ですので、できれば、例えば学校の先生方とか保育園の先生方が働きやすいような環境を整えとか、あるいは施設が老朽化しているので、そういったところに充てるとか、そういったことを優先していきたいというのが僕の考えであります。

具体的に、実施していることを幾つか紹介させていただきます。ちょっと長いですが、用意した回答を読ませていただきます。まず、保育園、幼稚園関係につきましては、子供の健康や安全の確保、発達を支えるため、保育者の配置について国の基準を上回る配置をして保育、教育にあたるように努めております。発達について気になる子がいる場合に、その子の状態や人数に応じて保育者を通常の数に加えて配置し、担任保育者と連携しながらきめ細やかな保育ができるよう取り組んでおります。それ以外にも配慮が必要な場面では、保育補助者を配置し、子供の発達を支えるための工夫をしております。また、保育士資格等を持たない方も雇用し、事務作業や園内の消毒、掃除などの業務を担当することで保育者の負担を軽減し、保育の質の向上のための時間の確保に努めています。

また、私立園に対しても同様の基準で、保育士の配置をしていただくよう各種補助を行っているほか、職員の給与についても経験年数などの条件が同じであれば、市の職員と同等の給与となるよう格付けによる人件費補助を行い、待遇面での差が出ないようにすることで、私立園の職員のモチベーション維持に努めています。さらに補助金を活用したICT化も進めており、登降園の管理や保護者への連絡など事務作業の省力化、ペーパーレス化による保育者の負担軽減についても進めております。一方で保護者への対応としましては、これまで持ち帰りをしていただいていた使用済のおむつについて、令和4年度より各園で処分することとし、保護者の負担軽減を図っています。

また、園での処分を実施している私立園に対し、処分費の補助を実施していきます。このほか施設においては今後予想される3歳未満児の受入れの増加や園舎の老朽化に対応するため、昨年

度は公立の吉田保育園と離島保育園を統廃合し、吉田みやこ認定こども園として民営化しました。現在は公立の福地南部保育園の建て替えや公立の矢田保育園の移転新築に伴う民営化によるこども園化、民営の伊文保育園に建て替えに伴うこども園化を進めているところです。

また、エアコンや遊具の修繕や交換などを順次進めるとともに、令和4年度にはコロナ対策補助金を活用した保育室の床や壁紙などの抗菌化改修を実施するなど、保育環境の向上のため、必要な修繕も実施しています。これからもこうした身近な環境とともに順次施設の建て替えや長寿命化など、保育施設環境の整備に努めてまいります。

学校関係につきましては、きめ細やかな教育を推進するため、教科担任や少人数指導教員を市の非常勤職員として配置しているほか、特別支援教育の充実を図るため、教員とともに児童生徒の指導に当たる教育アシスタント、教育の教材作りを補助する学校事務アシスタント、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語指導を行う日本語教育指導支援員などの職種は、市が独自で配置しています。不登校の問題については、学校内で児童生徒や保護者の相談に応じるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、教員と連携し、効果的な対応に努めています。

これらの職種については今後も計画的に配置を充実をさせ、児童生徒1人1人に寄り添ったきめ細やかな教育を推進してまいりたいと考えています。また、学校施設においては児童生徒の増加や校舎の老朽化への対応が喫緊の課題となっており、昨年度は花ノ木小学校、現在は平坂中学校において校舎の増築を行っています。また、吉良中学校においては改築工事を、西野町小学校では長寿命化改修工事を行っているところです。引き続き、子供たちにとって安全で快適な学校施設の維持更新を計画的に進めてまいりますということで、子育て支援とか教育の関係でやることはてんこ盛りですので、なるべくそういったところに優先的にお金を使いながら教育環境とか子育て環境の改善に努めてまいりたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの回答に対しまして、意見等がありましたらよろしく願いいたします。

それでは、4件目に移りたいと思います。神谷様、お願いいたします。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

4件目は、名鉄西尾・蒲郡線と矢作川の鉄橋改修についてです。

名鉄西尾駅は17万人市民にとって重要な駅です。以前から矢作川に架かる鉄橋の老朽化について、多くの市民が関心を持っています。鉄橋が廃止され、矢作川が渡れなくなれば、当然西尾駅を利用できなくなります。多くの人の通勤・通学の足等として利用されている西尾駅は必要です。そしてバス、マイカーの通勤が増えて、道路は大渋滞が起きます。予算が必要となるのですが、西尾駅をなくさないようお願いいたします。また、西尾・蒲郡線の今後はどのようになりますか。

4件目は以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

#### ○市長

鉄橋については、不安を払拭させるために僕はできる限りのことをやっているつもりなんです、なかなか払拭できていません。まずは大丈夫ですので「大丈夫だ」と周りの人に言っていたきたいと思います。

鉄橋については名鉄が2年に一度、定期検査をしております、構造物の健全性が保たれていることは確認をしております。確かに鉄橋ができてから年数はたっているのが古くなっているのは事実で、そこから不安になられる心境は理解できますが、だからといって、すぐにどうこうなってしまうということではないと思います。米津で名鉄が終わっちゃうんじゃないかという危惧を持っている方が結構いらっしゃるみたいですけど、少なくともこの短期間でどうこうなるということはないので、そこは安心してくださいということを、多くの皆様にお伝えいただきたいと思います。あと、老朽化対策だけではなく耐震対策のほうも優先順位を踏まえて名鉄さんが行っていますので、こちらについても心配はないと受け止めています。

また、名鉄西尾・蒲郡線の今後の話ですけれども、現状では令和7年度までの存続が決まっております。令和3年度に3、4、5、6、7の5年間の更新ができていて、8年度以降どうするかというところは、そろそろ名鉄と本格的な話し合いをしていかないといけないと思っていますが、1つ不安材料というかあまりよろしくない材料としては、コロナ禍で電車の利用者が非常に落ちました。冒頭に申し上げたようにコロナは社会経済活動の上では平時に戻ったんですけど、テレワークが進むなど生活様式が変わったことによって電車の利用者が完全には戻っていません。多分完全には戻らないんだと思います。そうすると、名鉄の西尾・蒲郡線についてもコロナ前までは順調に利用者が増えていたんですけども、そこは今までと状況が変わっていきますので、それを受けてどうしていくかという話になるので気を引き締めてやらないといけないと言いますか、そういう状況かなと思います。

まだ本格的に話をしているわけではないので断言的なことは言えないんですけど、すぐに、例えば名鉄西尾・蒲郡線が廃線になるということはないと思っています。西尾市としてはこの路線というのは非常に大事な路線でありまして、特に蒲郡線の利用者数が少ないんですけども、万が一そこが廃線となってしまうと吉良の南部や幡豆というのは非常に地域的な地盤沈下が進むというか、それこそ陸の孤島みたいな形になってしまっていて、かなり人口減少とか人口の流出が進むでしょうし、西尾市としては、非常にマイナスが大きいです。

あとは、西尾高校を始め電車を使って通う子供たちの足にも非常に大きなマイナスがありますので、それは何としても防がないといけないという強い姿勢で臨んでいきます。ただ、先ほど申し上げたように利用者が伸びないと、どうしても鉄道会社から厳しい姿勢で来られることも想定がされますので、一番いいのは定期券を使って利用する方を増やすこととなります。少子化なので通学については増やすというのはなかなか難しいかもしれませんが、通勤で、最近だとカーボンニュートラルということで、なるべくCO2の排出を減らすような生活をしましょうということが言われている中で、車より電車の方が排出が減ります。そういったことも踏まえて、ちょっと不便になるかもしれないけど通勤を電車に変えるとか、普段は車で通勤しているけど休日の日の移動については電車に乗ってみようとか、1人1人の努力もぜひお願いしたいところです。我々としても存続に向けて最善を尽くしていきますので、皆様方もなるべく電車に乗る機会を意識的に作っていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの回答につきまして質問、ご意見等があれば挙手をお願いいたします。

よろしいですか。それでは5件目に移りたいと思います。

5件目、神谷様、よろしく申し上げます。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

5件目は市街化区域の拡大についてです。

旧西尾地区の西部（矢田、富山、平坂、中畑等）では、毎年のように区画整理が行われており、

それに伴い、矢田小学校がマンモス化しています。旧西尾地区のうち、西尾小学校及び花ノ木小学校の児童数が増えないのは、これらの地区が区画整理されていないからではないでしょうか。市役所から東へ1 km弱のところは調整区域となっています。児童数だけではなく市内各地区の人口を平均化するためにも、区画整理事業を寄近町や徳次町辺りの矢作古川まで実施してほしいと思います。

5件目は以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

#### ○市長

この10年ぐらい見ると、いわゆる平中校区というか、具体的には矢田小校区で非常に区画整理が立ち上がっていて、それに伴って地区の人口だとか児童数も増えているんですけども、これは調整区域を市街化に編入するのではなくて、もともと市街化区域だったけれども農地だった土地の地権者の皆さんのご意見がまとまって区画整理を立ち上げているという、そういった類いのものになります。

市街化区域というのは愛知県が定めるものでありまして、拡大する場所や面積の妥当性については、その制約が厳しいのが現状になります。特に西三河地域ではまだ人口が増えたり維持できていますが、国内全体ではすごい勢いで人口が減っている中で、市街化区域を増やすことについては、これまで以上に県としても厳しく見られるのが正直なところです。今は先ほど申し上げたように吉良の北部で、調整区域の部分を区画整理をやって市街化にしていこうと思っていますけれども、そこについては県と大体調整ができと思っています。

それに加えて、同時並行的に更にここでもというのは多分なかなか県が許してはくれないので、今は既存の立ち上がっている平中校区の方と、新たに実施する吉良の北部で手いっぱいだと思います。それが終わった段階で西尾市の状況を見て、例えば花小校区の調整区域の部分で区画整理をやったほうがいいんじゃないかという判断になれば、それはあるかなと思っているんですけど、現時点では寄近とか徳次でやるかどうかというのは何とも言えないという状況ですので、ご理解いただければと思います。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの回答につきまして、質問、ご意見等があれば、挙手をお願いいたします。それでは、6件目に移りたいと思います。神谷様、よろしくをお願いします。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

6件目は産業廃棄物処分場の進展状況及び広域ごみ処理施設についてであります。

一色町生田地区にある産業廃棄物最終処分場について、平成25年に民間事業者から新たな建設計画が示されましたが、その後の進捗状況はどのようなのですか。また、吉良町のクリーンセンター敷地内に広域ごみ処理施設を建設する予定があるようですが、計画内容を教えてください。

6件目は以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

#### ○市長



前半の産廃処分場の問題が表面化したのが、平成25年の9月だったかと思います。僕が平成25年の6月に議員になっているのですごくよく覚えていて、そこからもう10年間たってしまったという状況です。一色町の生田地区というところに民間事業者が処分場の建設を計画しているということで、中日新聞の一面に大きくすっぱ抜かれたような形になりました。当時の市は中立的な立場で、やるともやらないともあんまり言ってなかったんですけども、僕になってからは明確に反対ということでやってきました。地元の方々を中心として産廃建設阻止のための市民会議というものが立ち上がって、これまで啓発活動や署名活動をやってまいりました。署名の際には市内全域で町内会の皆様方にも、本当に多大なるご協力をいただいたおかげで今があるとっております。

そうした継続的な取組みが功を奏したという言い方がいいか分かりませんが、昨年7月に事業者から産廃処分場の建設計画を取りやめて、その代わりに一部残土を入れながら整地した上で太陽光発電をする計画に変えていくことを検討したいという連絡がありました。それ自体は別に悪いことではないんですけども、我々としては、内部的にちょっと計画事業を変えようと思っているんですけどという話ではなくて、まずは記者会見を開くなりして、「産廃処分場の建設についてはもうやりません。白紙撤回します。」ということを表明して欲しいということに向こう側に言っていますけれども、それに対する返事が今のところ1年ぐらいありません。そのため膠着状態でありまして、まだ最終的な決着は着いていませんけれども、当初は産廃処分場ありきだったのが、ちょっと違った形に変えようとしているというのは地元の方々を中心とした運動の成果だと思えます。ただ、建設残土というの、土を入れるならいいじゃないかと思ってしまうかもしれませんが、自然由来のヒ素とかが入っている可能性があるとか、いろいろ問題があるみたいで、必ずしも残土だからいいとも言えません。まずは撤回をしていただくのが大前提ですし、その後、事業計画を変えるのであれば、地元の方々とか、あるいは漁業関係者とかと話をしながら合意を得て進めていくのなりたいんですが、そうじゃなければというのが我々の立場なので、そこは慎重な考えでやっていきたいという、今そういう状況にあります。

後半の部分の新しい焼却施設の話ですけども、こちらは国がごみ処理施設の広域化というものを進めておられて、先ほど令和12年度のオープンに向けて準備をと言いましたけれども、岡崎市と幸田町の燃えるごみの一部を含めた、要は今の西尾市クリーンセンターと岡崎市の八帖というクリーンセンターがあるんですけど、そのこの炉の1つを集約した形の施設としてやっていく予定になります。

そのため一部は岡崎とか幸田のごみが入るんですけど、8割ぐらいは西尾市のごみだと思っただけであれば結構です。施設の概要としては、規模は1日当たり292tというのを今想定しておりますので、現在の約1.5倍となります。ただ、最近では国で施設規模見直しの動きがあるということみたいなので、ちょっと不確定ですけど、今のところは1日300t弱ぐらいの施設規模を考えています。

煙突の高さは59mで、現在よりも少し低くなるんですけども、ただ、その反面、今よりも厳しい排ガス自主規制を設けますので、より環境に配慮した施設になると考えております。あと、ごみを焼却するだけではなくて、焼却に伴って発生するエネルギーを効率的に回収することが大事だと思っております。場所は今のクリーンセンターの敷地内に造りますが、隣にホワイトウェイブがありますので、そこに引き続き温水を供給するとともに、今は電力供給はしてないんですけど電力供給もしていきたいという形で、発生するエネルギーを有効に使ってきたいと思っております。

建設費については、先ほど申し上げたように今のところ約350億円ということで物価高騰の影響を非常に受けておられて、当初はこれよりも100億円ぐらい安く済むんじゃないかなと思ってたんですけども、工事費が暴騰していて350億円ぐらいかかるんじゃないかと思っております。

具体的なごみ処理の方式などは少し専門的な話になるのでこの場では申し上げませんが、今後、専門家で構成される委員会の中で、どういう方式にするかや、どういった事業者を採用するかというのは決めていただいて、そこで決まったことについて市として進めていくという形になりますので、ご承知いただければと思います。

以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの回答につきまして、ご質問、意見等があればお願いいたします。

よろしいですか。

それでは予定の時刻となりましたので、一旦ここで自由意見の時間に移りたいと思います。時間は8時15分までとさせていただきます。

まちづくりに対する提案やご意見、その他地域の困りごとなどがありましたら、ご発言をお願いいたします。また、最初に市長が説明をいたしました市政運営に関する関係もこちらでご質問等を受けさせていただきます。冒頭お話をさせていただきましたとおり、発言に際しましては花ノ木小学校区の方を優先させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

先ほどと同じように挙手をお願いします。市長が指名をいたしますので、町内会名とお名前をおっしゃってください。そして多くの方に発言をしていただきたいと思いますので、1人の方が幾つもの質問をするようなことがないように、またお時間も限られておりますので要旨を簡潔にまとめてご発言をいただきたいと思いますので、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは市長が取り回しをしますので、よろしくお願いいたします。

#### ○市長

じゃあ、ご意見とかご質問がある方は挙手を。

じゃあ、後ろの方。

#### ○榊原矢曾根町町内会長

矢曾根町の榊原といいます。8番目の質問に市内の道路について停止線などの表示がというのがありますが、西尾循環線の今川にあるローソンから西へ行ったところの横断歩道がほとんど見えない状態になっているので、今年町内として工事要望で一番としました。土木課に出させていただいたところ、こういうのは警察署へ言ってくれということで、警察には3度ほどお願いしたんですけども順番があるので予算が回ってこなくてなかなかやってもらえません。通学路にもなっていますし、できればどこかで引いていただけるとありがたいなと思います。ほとんど8割方見えないんですね。あそこの色が悪いのか分かりませんが、中央の白線も全く見えてない状態です。

#### ○市長

榊原さん、ありがとうございます。

縦割りの世界になってしまうので、こういうことを言うのも非常に忍びないんですけども、外側線とか停止指導線とか専門用語になるんですけど、そういったものは市道であれば市でやれるんですけども、停止線とか横断歩道というのは警察の管理になってまいります。我々としても警察に要望はお伝えできるんですけども、最終的には警察の中の予算で優先順位を付けていくということになります。

建設部長から答えさせますので。

○榑原矢曾根町町内会長

県道でしょう。

○市長

県道とか市道ではなくて横断歩道自体は。

○杉山建設部長

建設部長の杉山でございます。よろしくお願いいたします。

おっしゃるとおり循環線は県道でございます。横断歩道につきましては市道、県道関係なく警察に言っていただくものになります。市としては、要望がありましたら警察お願いはしておりますけれども、警察がおっしゃるとおりなのかなと思います。

○榑原矢曾根町町内会長

じゃあ、市からは全く要望はしていただけないと。

○市長

例えば消えかかっているところがあって、やってくださいという地域の声がありますのでお願いしますということと言えます。ただ、その決定権は警察になります。地域の声を届けることはもちろんやります。

○榑原矢曾根町町内会長

一応生活道路になっているので。

○市長

はい、分かりました。

ほかにご意見、ご質問がある方は。

はい、どうぞ。

○中町橋本様

中町に住んでいます橋本と申します。

国政にも絡むような大きい話にもなってしまうと思うんですけど、日本人と外国人の割合について、今後、市としてどう考えているのかというのを伺いたいです。今、西尾市は外国人の割合が6%で、2023年の5月から10月までの6か月間の平均を取りますと、日本人は毎月マイナス75人。外国人は毎月103人増えているということになっていまして、それを単純計算していくと5年後には外国人の割合が10%、8年後には20%、16年後には30%、24年後には40%、32年後には50%になります。私が65歳の時には半分が、50%が外国人ということになります。単純計算するとですね。

そうなりますと、日本の伝統ですとか、西尾でしたら西尾祇園祭が400年続いているという伝統の行事も行えなくなってくる危険性があります。現在川口市でクルド人問題ですとか、名古屋市だと30%が外国人ですので、入管で収容中の女性が死亡したというようなこともあります。急に外国人が増えると、不安に思う地元住民と外国人との分断が生まれますし、外国人も技能実習生制度で低賃金で働かされて、日本の文化が好きだからという訳ではなくて、単にお金の問題で低賃金で奴隷のように働かされるという問題にもなっていると思います。

○司会（広報広聴課）

橋本さん、お話中にすみませんが短くまとめていただいてもよろしいですか。申し訳ありませんが1分程度でまとめてください。

○中町橋本様

市として、外国人であっても日本人であっても居住を拒否することはできないということと、市としては、その割合に対して何ら問題意識が無いと、以前回答をいただきましたが、その辺りの所感をお聞かせください。

○市長

僕の考えということですね。

まず、僕はさっき言った単純計算のペースでは外国人の方々の人口は増えないと思っています。それに、市として、それに対して何かコントロールするということは基本的にはできないので、それに対して市として何をしますかということについては、答えは無いと思います。

ただ、社会状況として見ますと、企業経営者の方々と話をすると、今何が一番の経営課題かと言うと人材の確保だと、ほぼ口をそろえて皆さんおっしゃいます。人材の確保が苦しいのは当然と言いますか、少子化なので若ければ若いほど先細っていき、どんどん採用が難しくなるのは当たり前前の話であって、それを解決する方法は、僕は2つぐらいかなと思っています。

1つは、人がやっていたことを、ロボットなど人ではないものに代替することによって、ある程度、従業員が少なくても企業経営が成り立つようにする方法です。

もう1つは、外国人の方を労働力として当てにすることです。両方とも進んでいくと思うので、結果として外国人の方はこれからも増えるだろうと思います。外国人の方が50%になったときに、果たして日本の文化がどうなりますかという話はあるのかもしれませんが、急激なペースで一気に増えていくことは多分無いと思っています。増えていく中で日本国内で色々な世論が起こるはずなので、それを踏まえて政府がどうしていくかということの延長に未来があると思います。

懸念されることは理解できますが、そこまで喫緊の課題にはならないと僕は思います。それに対して、市として良いとか悪いとか言う立場でもありません。外国人だ、日本人だという形であつれきが生じるとか、住みにくくならないように何ができるかということを考えるのが我々の役割であり、それが責任だと思います。

よろしいですか。何かありますか。

○中町橋本様

市としては何もできないということでしたし、例えば、中村市長は別に大きな問題だと思っていないということでしたが、もし問題だと思っている場合、例えば国に対して意見書を提出するか、そういったことはできますか。

○市長

理屈の上では可能です。

○中町橋本様

ありがとうございます。

○市長

ほかにご意見、ご質問はありますか。

**○つくしが丘中村様**

つくしが丘の中村です。東部地区で懇談会がなかったので、こちらへ出させていただきます。8月号の市の広報に、旧一色町役場の跡にプールができるという記事が載っておりました。それを見てちょっと希望というか、お願いをしたいと思います。

私は水泳をやっている、水泳協会の人や色々な人と話して、色々な意見を聞いております。前回ホワイトウェイブができた時も、市の水泳協会に打診はあったけど、水泳協会の意見は一切通らなかったと聞いております。今、どの程度計画が進んでいるのか知りませんが、小学校の代替プールというのは理解できます。その上で、スポーツ施設としても利用価値の高いものを造っていただきたいと思います。平坂中学校のプール、元の勤労青少年プールですね。こちらも築48年を過ぎて耐用年数が近づいていると思います。そうすると、水泳大会とか競技ができるプールが無くなってしまいます。だから、ぜひ、大会のできるような公認プールを造っていただきたいと思います。西尾市からもインターハイで優勝する選手、インターカレッジで優勝する選手が出ております。水泳の発展のためにも、ぜひお願いしたいです。

それに関して、今は床が上がったり下がったり…。

**○司会（広報広聴課）**

お話し中、申し訳ありません。中村様、最初のところはご要望ということでよろしかったですか。

**○つくしが丘中村様**

はい、そうです。

**○司会（広報広聴課）**

では、まずはそれについてということでもよろしいですか。

**○つくしが丘中村様**

はい。

**○市長**

プールの建設について、学校プールを全部更新するのが難しいという視点で話しましたが、西尾市は令和3年度にスポーツ都市宣言をしていて、スポーツをする環境をしっかりと充実させていくということも言っているので、プールの建設に当たっては、学校プールの教育的な機能だけではなくて、スポーツ施設としてどのようにすれば良いかという視点も当然大事です。

そのためには水泳連盟の方のご意見というのは、1つ重い立場だと思いますので、最終的にどういった形になるかはまだ分かりませんが、水泳連盟の意見を一切排除するということは無く、しっかり意見を聞かせていただいた上で、最終的な形を決めていくことになると思います。

**○つくしが丘中村様**

すみません。いいですか。

**○司会（広報広聴課）**

中村様、少しお待ちいただいてよろしいですか。

他に花ノ木小校区の方で発言を希望される方は挙手をお願いします。

今マイクをお持ちしますので、町内会名とお名前をお願いします。

#### ○尾崎下今川町町内会長

下今川町の町内会長の尾崎と申します。先ほど映像を見ていただいた水害のこともありますが、今、花小校区は花ノ木小学校が避難所になっていますが、西尾市は周りがほとんど川に囲まれて、仮に大地震が起これば、他から救援物資が届く方法がほとんど無いような状態になると思います。もちろん、個人が対策をしておくことは第一ですが、今現在、まだ市の対応が不十分じゃないかという意識を持っているんですけども、今後、防災について水害も含めてどういうふうを考え、対策を立てていかれるのかということです。

#### ○市長

尾崎さん、ありがとうございます。対応が不十分じゃないかなと感じられるというのは、具体的にどういった部分でそう感じられるか、もしよかったです。

#### ○尾崎下今川町町内会長

花ノ木小学校に避難をするにしても、相当な人数が避難する可能性が高いですけども、現状として花ノ木小学校の体育館を中心にして避難、集合すると伺っていますが、とても入り切れる人数ではないと思われます。先日、町内会長会議があった時にトイレの設営訓練というか練習があったんですけども、これも実際には8基あるだけです。ですから、非常に多くの人が集まったとすれば、とても対応できないんじゃないかなと思われます。非常食とか、そういったものも含めて、そんなに備蓄はできないんだろうと思いますが、多くの人が集まった時に対応ができるのかなということです。

#### ○市長

はい、ありがとうございます。担当の部長がこの場にはいないので細かいところがお答えできないので、もしご希望なら日を改めて正式にお答えさせていただきます。

一定のシミュレーションをする中で、これぐらいの規模の地震が起こった、これぐらいの、例えば被害が想定されて避難する人数がどれくらいかというのが出ているのを受けて、その地区の中でどれぐらいの収容のキャパを用意するかということをやっているはずだと思います。花ノ木地区でそれが足りているか足りていないか、今お答えすることができませんが、物理的なキャパは、どうしても限りがありますので、その場合にどうするかというところまで、市として考える必要があります。ただ、今そういう状況ですので詳しいお話はまた日を改めてさせていただきます。

他はよろしいですか。

#### ○尾崎下今川町町内会長

先ほどの映像の後にご質問すればよかったんですが、北浜川の改修は県の対応になると思いますが、具体的に話がどういうふうに進んでいきますか。毎年、豪雨の可能性はありますし、今年の6月初めの豪雨の時も豊川地区ではかなり大きな被害が出ていたかと思います。それこそ死者が出るぐらいの状況になりかねないので、この辺も具体的に対応を決めておかないと。

今現在、情報も錯綜していますし、防災無線も下今川町でははっきり言って聞こえません。ですから、キャッチとか、色々なテレビの状況で見える限りでしか対応ができないので、町内会としても対応がしづらいということになります。この辺も具体的に対応を決めておかないといけないと思われるんですが。

**○市長**

答え、言ったほうがいいですね。

**○尾崎下今川町町内会長**

はい。

**○市長**

まず、北浜川については、河口から上流約5.6kmの北浜橋というところがあるんですけど、そこまでの区間について河道の拡幅とか、橋梁の改築などの整備が位置づけられていて、県からは、約8割の事業用地の確保が完了をしていて、今後その整備工事に向けて河口部などの詳細設計を行っていくという報告は受けています。

ただし、その5.6kmの改修工事について、どれぐらいの期間で終わるかというのと、多分5年、10年では難しいんだと思いますので、もう少し長く期間を見ていただかないといけません。なるべく早く終わるように働きかけていきますが、多分それぐらいの時間がかかりそうです。

具体的な対策については先ほど申し上げたように、市でやれることはやっていきますし、そういった状況を受けて皆様方に日頃から何をしておくべきなのかとか、いざという時に何をすべきなのかということについて、周知はさせていただいているつもりではありますが、それがまだまだ全然伝わってないということであれば、その方法については改めてまた考えさせていただきま。先ほどの、避難所の数が足りているかどうかということと併せて、具体的にここが心配だとか、ここが伝わっていないところがあれば、後で事務局に教えていただければ、それも併せてお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。

**○司会（広報広聴課）**

花ノ木小学校区の方でご意見等がある方、挙手をお願いいたします。

**○榑原矢曾根町町内会長**

ちょっとだけいいですか。

**○司会（広報広聴課）**

はい。今マイクをお持ちいたします。

**○榑原矢曾根町町内会長**

矢曾根の榑原です。ごみの話ですけど、一度ごみ減量課で、A4ぐらいの紙で「ここへごみを捨てると罰金1,000万円」などの警告を一度いただいてきたんですが、それ以外のひな型が全くありません。さっきの話ではないですが外国の方がたくさんみえるので、どこの国の方が多いいのか、僕はよく分かりませんが、まあ、ポルトガル語なり中国語なり、そういうので書いた警告文のひな型をごみ減量課さんに作っていただきたいです。以前、自分でデザインして考えてきてくださいと言われたので、ひな型があればもらいたいです。なかなか向こうの言葉も分からないし、ひな型を作っていただけるとありがたいと思います。それを貼って減るかどうかは疑問がありますが、一応警告ということで、お願いしたいです。

**○高須環境部長**

ご質問ありがとうございます。環境部長の高須と申します。よろしくお願いします。今の

件ですが、ごみ減量課に問合せをしていただいたということですか。

**○榑原矢曾根町町内会長**

違います。直接もらいに行きました。

**○高須環境部長**

そうですか。

**○榑原矢曾根町町内会長**

はい。外国語のことは全く言ってないんですけども、ひな型が全く無いような状態で。何か1つだけあったんですけども。

**○高須環境部長**

場所によって色々な外国人の方いらっしゃいますので、どういう言葉が通じて一番有効なのかとか、その地区によって違いがあると思いますので、また詳しく照合させていただいて、こちらで用意できる道具もあるかと思しますので、一度対応を検討してまいりたいと思います。具体的なご相談をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

**○司会（広報広聴課）**

他に花ノ木小校区の方は。今マイクをお持ちいたします。町内会名とお名前をおっしゃってください。

**○杉浦永吉町第1区町内会長**

永吉町の杉浦と申します。

まず、西尾市がなぜ、ごみの量が一番多い、ワーストなのかという理由を聞いたかったのと、2点目は西尾駅周辺に無料の駐輪場を開放していただいているんですが、市の方か分かりませんが整備していただいたり、放置自転車については税金をかけて回収いただいて、ここも有料にしてもいいのかなと個人的には思っております。その対応をどう考えているのかと、最後に市役所やヴェルサウォークを中心に、夕方、鳥がものすごくたくさんいて、自然の生き物なのでどうしようもないと思うんですけども、糞害も含めて何とかならないかなと。この3点について聞かせていただければと思います。

**○市長**

まず、僕からは2点目の話ですけど、駐輪場で現状何か大きな問題が起きているという認識はしてないので、特段有料化というのは今のところは考えていません。

3点目の鳥については、過去にもそういったご意見というか、ご要望をいただいたことがありますが、なかなかこれをやればという方策がありません。逆に聞いちゃって申し訳ないんですが、何か良い方法があれば、今日ではなくてもいいんですけど、何かご提案というか情報提供いただければ嬉しいかなというようなところなんです。

**○高須環境部長**

環境部長の高須と申します。

原因としては3つほど考えられまして、まず、いわゆる雑がみです。今、雑がみ回収を一生懸命やっていますが、全体のごみの40%を紙類が占めているということがございますので、まず



こちらを減らすことによって各対応が可能になってくるのではないかとあります。

それと、先ほど市長も申しました生ごみです。水切りをするだけで大きく変わってきますので、その辺を意識していただきたいと思っております。

3つ目として、これは特に西尾地区が要因かもしれませんが、剪定枝です。実際には家電と剪定枝があるんですけども、木の古びたものを伐採して、それをごみ袋で出されてしまうとごみになってしまいます。これをクリーンセンターに持ってきていただくと、リサイクルで木片に活用できますので、そのようにしていただくと、それだけでもごみの量が大幅減らせますが、今現在、ごみの袋で出されてしまう家庭が多いということで、ごみが多い原因として3つぐらい考えられると解釈しています。

**○司会（広報広聴課）**

杉浦様、よろしかったですか。

**○参加者（杉浦）**

はい。

**○司会（広報広聴課）**

ありがとうございます。他に花ノ木小校区の方。今マイクをお持ちいたしますので町内会名とお名前をおっしゃってください。

**○参加者**

失礼します。ちょっと声が聞き取りにくいと思いますが、聞こえますか。

**○市長**

はい。

**○参加者**

今ごみ問題が出ましたので。私はのんびりしております、今年の2月くらいに西尾市のごみの量が県下ワーストということを知りました。それで、先ほどお話がありましたように雑がみですね。雑がみが40%も入っているということで、やっぱり分別が基本かなと思います。

先ほど市長さんから動画を作成したとか、市の出前講座とか、市民会議の方たちの提案された雑がみの袋ですか、そういうような実施をしてきたとか、そういうのを伺いましたが、それでごみは減量しているのでしょうか。ワーストはいつまで何年くらい続いてきているのか。数年とは聞いたことがありますが、減ってきているのでしょうか。

私が1つ提案するのは、出前講座というのはすばらしいと思うんです。10人以上集めた開催ですけれど、そういうのを待っていても、なかなか来てくれとは言ってこないですね。ですから、市から声を掛けて、今回、こういう講座がありますから、皆さん、人数を集めてくださいとか、そのような働きかけをされるのが、より効果的にごみ減量につながっていくかなという気がします。以上です。

**○市長**

はい、ありがとうございました。

まず、出前講座については、確かに受け身ではなくて積極的にこちらから、いろいろ働きかけることも含めて、取り組みはやっていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

雑がみについては、毎月、回収量を西尾市のLINEでグラフ化しながら報告しています。月間50tが目標で、大体のイメージで言いますと、雑がみ回収袋を配付する前の1.5倍くらいは回収できるようになりました。ただ、毎月50tという目標についてはやや足りないくらいなので、もう少し啓発を続けながら、そこまで行きたいなと思っているんですけども、大分回収量自体は上がってきています。

それによってワーストが脱却できるかどうかというのは、また少し次元が違う話なので、すぐにそれがどうなるかというのは、まだ見えてきていないんですけども、さっき言ったみたいに雑がみ以外にも含めてなるべくごみの排出を減らすとか、リサイクル率を上げることによって、何とかそこを脱却して、できればごみの排出量の少ない方でランキングに入ることを目指していきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

**○参加者**

ちなみにワーストは何年ですか。1年、2年。

**○市長**

何年でしたっけ。

**○高須環境部長**

何年というのは、分らないです。

**○市長**

何年か続いて、5年とか3年とか、そういうことではなかったと思います。

**○参加者**

そうですか。

**○市長**

1年か2年だったと思います。

**○岩瀬柳町南部町内会長**

市長。

**○市長**

はい。

**○岩瀬柳町南部町内会長**

柳町南部町内会の岩瀬といいます。

私は西尾市巨海町で生まれて、漁師をしています。今は柳町南部ですので、花小の周りに住んでいますが、本当に西尾はいい町だなと。年寄りにとってはいい町だなと思います。

ごみの問題ですけど、旧西尾市は、自分が育ってきた中で経験したのは、分別が非常に遅れていたんですね。だから、私たちの世代の分別意識が非常に低いと思います。そうすると、若い世代をどう指導していくとか、周知していく、教育していくということが、今後のごみ減量に関わってくるんじゃないかなと思います。碧南の親戚の人が、うちへごみを持ってきて捨てたりだとか、そういう時がありましたので。

2点目は、やっぱり人口の増えない市は未来はないと思います。そうすると若者が増える。市長がデンソーの誘致とか、公園とか、いろいろ考えておられると思いますけど、そういう若者が増える町にしていくためには、どうしたらいいかということを考えていかなくてはいかん。我が家族でも私たちは住みやすいなど。今、ちょうど西尾駅の近くですので、家が。そこでもすごく静かな町です。住みやすいです。でも娘たちは買い物へ行くと「安城のアピタへ行って来る」とか「岡崎のイオン行く」とか言って、西尾にはいないんですよ。その辺り非常に難しい問題だと思いますけど、考えていただきたいなと思います。

それから子育てしやすい町。やっぱり教育ですよ。教育に金をかけないところは、やっぱり未来はないと思います。市長の熱い思いを今日は感じることができました。

以上です。

**○市長**

特に返事はなくていいですか。

**○岩瀬柳町南部町内会長**

要らないです。

**○司会（広報広聴課）**

はい、ありがとうございます。

他にはよろしかったですか。

**○参加者**

すみません。

**○司会（広報広聴課）**

少しお待ちいただいてよろしいですか。最初の事前質問が2件残っておりますので、そちらを先にやらせていただきたいと思いますので。神谷様、またよろしいでしょうか。7番目からお願いしたいと思います。

**○神谷花ノ木小校区代表町内会長**

7点目は、新たな工場用地の造成についてです。市では、新たに工場用地を確保し、工場を誘致する考えがありますか。また、それに伴い、工場用地造成を行う予定がありますか。市内には多くの土地がありますので、大企業を誘致して、税収入を増やしてほしいと思います。

7件目は以上です。

**○司会（広報広聴課）**

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

**○市長**

はい、ありがとうございます。企業誘致は市の中でもかなり優先順位も高いですし、力の入れ具合としても特に合併後、非常に力を入れてやってまいりました。

愛知県はものづくりの県ですので、工場の誘致などは全国でも屈指の県ですけど、その愛知県の中でも西尾市が立地件数とか面積で1番になることも結構あります。僕が言うのも何なんですが、西尾市は本当に県内でも企業誘致は非常にやれていると思っています。ちなみに平成23年度

に合併をしましたが、令和4年度までに市外企業が35件、市内企業が87件、合わせて122件の企業立地があって、税収効果で言うと直近の令和4年度では13億8,000万という形なので、非常に税収にも貢献をしてくれております。

今回はデンソーの誘致という形で山を切り開いてやっていくんですけども、なかなか企業用の土地というのが大分減ってきているというのが正直なところであります。多くの場合は、農地が転用して企業の用地になることが多いんですけども、何でもかんでも農地を潰していいというわけでもないので、ある程度、農地の保全と企業誘致のバランスを取っていく時期に差しかかったということですし。あとは、山を切り崩すといっても結構大ごとになりますので、どうやって企業のニーズに合った土地をこれから確保していくかというのが課題になっているということです。これまでのペースでは行けないかもしれませんが、先ほど申し上げたみたいに、西尾市としては雇用とか税収の面で非常に大事なので、引き続き力を入れてやっていきたいと思っております。

#### ○司会（広報広聴課）

ご意見等がありましたら、挙手をお願いいたします。

では、8件目に移りたいと思っております。神谷様、よろしく申し上げます。

#### ○神谷花ノ木小校区代表町内会長

8件目は、道路の維持管理についてです。市内の道路について、停止線などの表示が薄くなっている箇所があります。また、歩道等には雑草が多く生えている箇所があります。いずれも事故につながる危険がありますので、交通安全のためにも整備をお願いいたします。

以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。市長、回答をお願いします。

#### ○市長

停止線とかの話で先ほどと関連しますが、非常に申し訳ありませんが、なかなか警察の関与する部分については、市の予算でやるというわけにもいかないもので、地域の声はしっかりと我々も届けて参りますけれども、警察がどこまでやってくれるかということまでは見通しが立ちにくい部分があるというのはご理解いただきたいと思っております。

あと、雑草の関係ですが、実は、市民の皆さんと話をされていて、道路とか公園に生えている草取りをやってほしいという声は非常に多いです。今年度から除草するための専門の班を作って体制を強化していますので、昨年度に比べると倍以上の処理はできていると思っておりますけれども、夏場などは短期間で伸びてしまいます。そうすると、1年間どの時期に行ってもきれいに手入れしている状態というのは理想ですけど、なかなかそこまでやるのは難しいです。ただ、市民ニーズが多いところだということは承知をしていますので、なるべく多くの処理ができるように、これからは知恵を絞っていきたいと思っております。随時、どの場所がどういった状況かということ、我々も全域が把握できないので、そこは町内会さんとかにご要望いただく中で状況を把握しながら対応してまいりますので、よろしく申し上げます。

#### ○司会（広報広聴課）

ただいまの意見等、よろしかったでしょうか。

では、お時間が迫っておりますので手短かにお願いしたいと思います。

**○中町橋本様**

今の草取りについてですが、私は中町の町内会にこの間、初めてお電話をして、町内会で清掃活動をしていますかと聞いたら、特に清掃活動はしていないということだったんですけど、何か草取りのボランティアをしたいんですが、どうしたらいいですか。

**○市長**

ありがとうございます。どこまでの量をやっていただけるつもりがあるかにもよるんですが、例えば自分の家の周りの歩道に生えている草を取ってもらうとかでもありがたいです。専門的な機材を持っているわけじゃないですよ、きっと。

**○中町橋本様**

はい。

**○市長**

そうすると、例えば近くの公園で生えている草を、時間がある時に抜いてもらうだけでもすごく嬉しいし、ありがたいです。例えば草がいっぱい生えている路線もありますが、そこをやってくださいと言っても負担が大きいじゃないですか。そうすると、自分の日常生活の活動範囲の中で、ちょっと目についたなっていうところをやっていただけるだけでも、すごくありがたいです。

**○中町橋本様**

町内会で草取りしているような町内会はあるんですか。

**○市長**

町内会によってはあります。

ですので、共助の世界と言いますか、地域の中できれいな環境を作っていこうねということでやっていただけることは非常にありがたいですけども、我々が強制をする訳にもいかないの、そこは地域の中で話がまとまるかどうかということだとは思いますが。

**○中町橋本様**

分かりました。例えば私が中町の町内会に「草取りしたいんですけど、皆さんこの日どうですか」みたいなことを言えば、何かできますか。

**○市長**

それは、投げ掛けとしては良いことだと思いますよ。

**○中町橋本様**

分かりました。

**○司会（広報広聴課）**

ありがとうございます。最後に、先ほどの中村様、1件だけお願いします、手短に。

**○つくしが丘中村様**

先ほどの続きなんですが、参考のためになんですが豊橋市にアクアリーナ豊橋というところがあります。そこは小学校や何かの代替プールになって小学生達が来るんです。夏休みは親と来ても小学生は無料です。学校のプールが使えなくて、夏休みの期間に生徒が自由に泳げるようにな

っていたのができなくなってしまったから、市の施設を夏休みに限って無料にするということをやっています。そういうことも参考にさせていただきたいと思います。忙しいとは思いますが、ぜひ視察をしてもらおうとありがたいと思います。豊橋のアクアリーナ豊橋と安城のスポーツセンター。ここは設備的にも一番進んだものになっておりますので、参考のために視察へ行っていただけたらと思います。

以上です。

#### ○司会（広報広聴課）

ありがとうございます。ご協力いただきましてありがとうございます。

それでは閉会に当たりまして、市長がお礼のご挨拶を申し上げますのでよろしくお願いいたします。

#### ○市長

本日は短い時間でありましたけれども、たくさんご意見いただきまして、どうもありがとうございました。

僕自身は皆さんと懇談をするということは、大事だと思っております。案件によっては、市として対応できることとできないことはあるんですけども、日頃、皆様方が何をお困りで何を望んでいるかというのは、やっぱり直接話をするということはずごく大事だと思っております。僕は色々な現場には意識して行くようにしていますので、今日こういった対面の場以外でも見かけることがあれば、話し掛けてもらって構いませんので、何気ない会話も含めまして、皆様方と一緒に西尾市の将来を考えていきたいなと思っております。

本日の懇談会は、場所も時間もこちらで指定させていただいておりますけれども、後ほど紹介があると思っておりますけれども、「出張・市長のどこでもトーク」というのをやっていて、コロナ禍で一時できませんでしたが、これは10人ほどのグループであれば、場所も時間も指定させていただいて、僕がそちらにお邪魔するというやり方なので、僕と話をいろいろしたいよという方の立場に寄り添った形でやれるかなと思っておりますので、また一度ご検討いただければと思っております。

西尾市は、非常に色々大きな課題もありますけれども、僕は今44歳です。この歳で市長をやらせていただいたのは目先の課題も大事だけれども、20年、30年先の未来まで考えてやってほしいという皆様の期待をいただいてやっている僕は思っていますので、しっかりと責任を果たせるように引き続き全力で頑張って参りますので、また皆様方に叱咤激励いただきながら頑張って参りますので、どうぞよろしくお願いをいたします。ありがとうございました。

#### ○司会（広報広聴課）

最後に事務局から4点ほどご連絡をいたします。

1点目です。今日の資料の中にアンケート用紙が入っております。今後の事務の参考にさせていただきますので、ご協力ください。後ろにアンケートを入れるボックスがありますので、鉛筆と一緒にそちらへお入れください。よろしくお願いいたします。

2点目は、「市民の声」制度というのを設けております。本日、様式を添付しておりますので、市政に対してお気付きのことがありましたら、そちらの様式を使ってご意見等をお寄せください。

3点目です。今日は3つのチラシが入っております。

1つ目は、今市長から説明がありました「出張・市長のどこでもトーク」というチラシです。こちらは市長が皆様のところへお伺いしますので、日にち等が決まれば市役所の広報広聴課へご連絡いただければと思います。

2つ目です。住民票などの各種証明書の申請や届出の一部が市役所に来ることがなく、パソコンだとかスマートフォンで行うことができるという「N i s h i oスマート申請」というチラシが入っておりますので、ご参考にしてください。

3つ目です。こちらは最近始まったサービスになります。道路の穴ぼこだとか、例えば公園の遊具がちょっと壊れているよというような時に、L I N Eから通報ができるというシステムになっておりますのでご活用ください。

そして最後ですけれども、西尾市のL I N E公式アカウントがあります。今10万人以上の方に登録をさせていただいております。本日の資料の表紙に、二次元コードというQRコードがありますのでこちらを読み取っていただくと友だち登録ができますので、ぜひ登録していただければと思います。

連絡事項は以上です。

それでは、これを持ちまして市長と語る市政懇談会を閉会いたします。

交通安全にご留意いただき、お帰りください。

どうもありがとうございました。